

会 議 議 事 録 (抄)

会 議 名	2024 年度専門学校東京テクニカルカレッジ 第一回情報処理科教育課程編成委員会
開 催 日 時	2024 年 7 月 22 日 (金) 15 時 40 分～17 時 00 分
会 場	専門学校東京テクニカルカレッジ 地下 1 階 テラホール
参 加 者	<p><外部委員></p> <p>後藤 英明 (株式会社ネクストワン) 開原 裕一 (株式会社ネクストワン) 経塚 真裕 (ソフトヒューベリオン株式会社) 片山 善久 (株式会社エフ・エム)</p> <p><オブザーバー></p> <p>山本 仁 (ソフトヒューベリオン株式会社)</p> <p><内部委員></p> <p>井坂 昭司 (専門学校東京テクニカルカレッジ 情報処理科科長) 呉石 義明 (専門学校東京テクニカルカレッジ 情報処理科主任)</p>
	<p><系別分科会> (第二部)</p> <p>1. 議長挨拶 井坂より挨拶 2. 前回 (系別分科会) 議事録の確認 3. 意見交換 最近の IT 分野の状況、現在の新入社員に足りない技術</p>
討 議 内 容	<p>1. 最近の IT 分野の状況</p> <p>(経塚) 生成 AI の活用は、半々であり、顧客によって違う。活用が OK のところとそうでないところで 2 極化している。SE・PG はどんどん使わせるべきだと思う。また 1, 2 年で変わってくると思う。</p> <p>(山本) あまり変化はない。生成 AI を使う場面としては、議事録などが便利。またテストデータを作るにも向いている。その他としては、基本クラスメソッドなども作れる。</p> <p>(片山) 基本的には、生成 AI は当社では使わない、理由は、著作権の問題などが確立されていないので。しかし講習会はおこなった。その他としては、AWS 離れが起こっている。勝手にバージョンアップが頻繁にあるため検証するのに時間と費用がかかる。その代わりに Azure が人気である。Office365 や生成 AI と相性も良いので。</p> <p>(呉石) 生成 AI の活用は、そもそもプロンプトが作れない人が多い。プログラムのエラーの解析には役立つ。</p> <p>(片山) 一度システム設計書がないプログラムがあり、AI にコメントをつけさせて、解析したことがある。</p> <p>(井坂) 確かにリバースエンジニアリングみたいなことはできますよね。</p> <p>(開原) AI は使い方を管理する人が必要である。またロジカルシンキングができ、AI が正しいか判断を付けられるスキルがないとダメ。</p> <p>(井坂) プログラミング等のスキルがないとダメということですよ。</p> <p>(開原) 先ほどの話ですがやはり Azure は、Office365 も含め親和性が高い。AWS のようにセキュリティポリシーが高いほどバージョンアップが必要で検証に時間がかかり、大きい</p>

案件じゃないとだめになってきている。

(井坂) Azure が多くなってきているということは、言語も c#が増えているのか？

(開原) その通り。

AWS で Windows サーバーを仮想化して組み体系的に学ぶのも良い。

(井坂) あと以前に Oracle 離れもあると言ってましたよね？

(片山) OracleDB もバージョンアップが早く値段も高くなって嫌がられるようになった。その代わりとしては、PostgreSQL、MySQL などが増えた。Oracle は銀行系等大きいシステムで使われている。

(経塚) AI の続きであるが、IT コンサル業務は減っていくのではないかと考えている。生成 AI に聞けばよくなってきているので、それに置き換わってくるのでは。

(片山) 確かに意外と上流工程の方が AI は向く感じである。

(井坂) ローコード、ノーコードについては？

(片山) ローコード、ノーコードの裏は、Java 等で作られている。

(井坂) 私も STADIO を使って感じたことは、基本の HTML が分かって使っていないとダメだなと感じた。

(開原) UI パスのコードが書けないとダメ。プログラムの知識が必要。

(呉石) マイクロソフトのコパイロット PC の出現についてはどうですか？

(山本) CPU アーキテクチャーの違いでシステムが動かないことがあり大変だった。社員が自社以外の他社の製品を使うとダメなケースがでるかも。

(井坂) Excel とスプレッドシートの連携がなかなかうまく行かないのですが？

(開原) GAS の基本がスプレッドシートが使える。

2. 現在の新入社員に足りない技術

(開原) 声が小さい。誰に話しているのかわからない。あとやってきた学習はわかるがそれが何のためにやってきたかわからない人が多い。

(後藤) 報告連絡相談ができない。自分から言ってこない人が多い。

(片山) 当社の今年の新入社員は、今までで一番元気が良い。新しい知識をどん欲に調べようとするのは良い。しかし新しい技術をわざと使おうとして相手にとって意味があるのかわかっていない社員がいる。

(井坂) TPOが分かってないのですね。

(経塚) 当社は、専門卒、大卒の給与基準が一緒。同等なのにテクニカルの卒業生はものおじしている。できるのだからもっと自信を持ってもらいたい。

(井坂) どちらかというところではおとなしい学生が多く、前にでない傾向がある。

(山本) 学園祭での発表で、録画ではなく大衆の前で発表させてもらいたかった。もっと緊張感を持って人前で説明できる力を付けた方が良い。また打合せの中でも自分の考えを述べられないといけないので、そういう機会をたくさん作った方が良い。

以 上